

# 第7章 街づくり 第4節 交通

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	滞りなく地域公共交通会議を開催することができ、所沢市の地域公共交通の方向性について答申を受けた。	H28年度に改善した点	無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,104	710	①地域公共交通会議の開催	市内の地域公共交通年間利用者数	市内の路線バス及び市内循環バス(ところバス)年間合計利用者数	H28目標値が未達成の理由・分析							
	地域公共交通検討事業	根拠法令 所沢市地域公共交通会議条例 所沢市地域公共交通庁内検討委員会設置要綱	H28予算現額 1,341	H28決算額(見込み) 528	②アドバイザーの活用										
	期間	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費 0.88人	H27その他職員 従事割合 0.00人	③	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	H26年度～	市内における地域公共交通の持続可能性利便性を向上させることを目的として、庁内検討委員会や地域公共交通会議を開催し、地域公共交通の方向性について総合的に検討する。また、所沢市地域公共交通アドバイザーの活用や先進事例の視察等により、職員の知識向上を図る。	7,621千円	臨時職員	実績	10,786,484人	11,879,517人								
			H28正規職員人件費 0.73人	H28その他職員 従事割合 0.00人	①3回	H28年度目標	H28実績								
		6,260千円	臨時職員	②1回	11,998,313人	12,988,101人									
				③	H29年度目標		目標達成								
					13,000,000人										
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年ほぼ達成しており、バリアフリーの促進について一定の成果があげられていると考えている。今後については、継続事業及び未完了の項目について各事業者等に働きかけ、誰もが移動しやすいまちづくりの促進に努めたい。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	24,219	17,521	①特定事業のうち、継続中又は実施済の事業数	継続中又は実施済の特定事業数の割合	「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づく特定事業の総数(153事業)に対する、継続中又は実施済の特定事業数の合計を成果指標としている。	H28目標値が未達成の理由・分析							
	交通バリアフリー推進事業	根拠法令	H28予算現額 3,686	H28決算額(見込み) 71	②駅ボランティア体験会等参加者数										
	期間	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.90人	H27その他職員 従事割合 0.00人	③ノンステップバス導入率	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	H16年度～	高齢者や障害者をはじめとした全ての人が、公共交通機関などを利用した移動にあたって、利便性及び安全性向上を促進させるために作成した「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定事業の進捗状況を管理し、市のHPで情報提供を行う。併せて、より質の高いバリアフリー社会の実現を目指し、「駅ボランティア事業」をはじめとするソフト施策を実施する。	7,794千円	臨時職員	実績	100%	97%								
			H28正規職員人件費 0.95人	H28その他職員 従事割合 0.00人	①149事業	H28年度目標	H28実績								
		8,146千円	臨時職員	②185人	100%	97%									
				③82.9%	H29年度目標		平成16年度からの事業継続により、ほとんどの項目で事業が実施されているが、施設管理者、周辺地権者及び道路状況等により、実施困難な場所が見られる。								
					100%										
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	関係権利者との交渉を重ねた結果、西口開設用地の一部を取得した。今後についても、同駅西口の早期開設に向け、引き続き必要となる開設及び道路拡幅に係る用地の取得に努め、関係機関との課題を解決し、整備等の業務を進めたい。	H28年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	15,202	10,363	①用地取得面積	用地取得件数	策定された整備計画の早期実現に向け、今後、関係権利者との交渉の上、用地の取得が必要となることから、その件数を成果指標としている。	H28目標値が未達成の理由・分析							
	西所沢駅西口開設推進事業	根拠法令	H28予算現額 332,845	H28決算額(見込み) 144,530	②地権者交渉回数										
	期間	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 1.75人	H27その他職員 従事割合 0.00人	③	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	H17年度～	地元自治会等からの請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、西所沢駅利用者の利便性向上及び安全性確保を目的として、平成27年度に「西所沢駅西口開設整備計画」を策定した。これに基づき、改札口及び送迎車用転回広場等の整備に向け、用地取得、調査・設計、関係機関との協議などの取り組みを行う。	15,155千円	臨時職員	実績	—	—								
			H28正規職員人件費 1.40人	H28その他職員 従事割合 0.00人	①345.56㎡	H28年度目標	H28実績								
		12,005千円	臨時職員	②62回	634.60㎡	345.56㎡									
				③	H29年度目標		平成28年度、関係権利者との交渉を行った結果、駅西口開設用地の内、一部宅地を取得したが、残りの宅地及び道路拡幅用地については、権利者との交渉が難航し、同年度中の契約はできなかった。								
					289.04㎡										
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	平成28年度に出された交通政策審議会答申をもとに、光が丘から東所沢までの延伸を「一体整備」として進めていくため、埼玉県への要望は行うことが出来たが、東京都への要望が行えなかった。引き続き、延伸促進協議会と連携を図り、課題解決に向けた取り組みを行っていく。	H28年度に改善した点	有	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	30	30	①会議の開催	延伸距離(光が丘駅～東所沢駅)	光が丘から東所沢駅までを延伸するため、延伸する距離	H28目標値が未達成の理由・分析							
	都市高速鉄道12号線導入促進事業	根拠法令	H28予算現額 30	H28決算額(見込み) 30	②要望活動										
	期間	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費 0.22人	H27その他職員 従事割合 0.00人	③	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	H5年度～	東武東上線と西武池袋線に挟まれた鉄道不便地域の解消を目的として、練馬区、新座市、清瀬市、所沢市で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」を開催し、また延伸促進の早期実現に向け、国(国土交通省、関東運輸局)、東京都、埼玉県等へ要望活動を実施する。	1,905千円	臨時職員	実績	12.7km	0								
			H28正規職員人件費 0.45人	H28その他職員 従事割合 0.00人	①4回	H28年度目標	H28実績								
		3,859千円	臨時職員	②1回	12.7km	0									
				③	H29年度目標		交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。								
					12.7km										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響			
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	バス路線が整備されていない地域の住民や高齢者・障害者等の身近な交通手段として定着しつつある。しかし一方で、運行本数や運行距離といった利便性の面で課題がある。現在の事業規模を維持しつつ市民の利便性向上を図れるよう運行の改善、効率化を目指していく。	H28年度に改善した点		有	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	138,115	114,598	①年間総利用者数 ②年間運行便数 ③特別乗車証利用者数(運転免許返納に伴う無料乗車券利用者を含む)	年間総利用者数	バス運行事業の目的の通り、公共施設利用者、交通不便地域の住民や高齢者・障害者など、多くの市民に利用されているかを計るため、年間総利用者数を成果指標とする。	H28年度に改善した点						
	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)										
	市内循環バス(とろバス)運行事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤 特別職	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	市民の公共施設利用の利便性向上、市内の交通不便地域の解消、及び高齢者・障害者をはじめとする市民の交通の利便性を図ることを目的とし、市内の4路線6コースにおいて、1日計54便のバスを運行している。	0.90人	7,794千円	臨時職員	①389,587人	363,000人	391,099人	目標達成済						
	期間		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤 特別職	②19,386便	H28年度目標	H28実績					市民の利便性向上を図るため、平成30年10月に路線の一部見直しを行う。さらに今後、「所沢市地域公共交通会議」で作成された答申に基づき、運行の改善、効率化を目指した抜本的な見直しを検討する。		
	平成10年度～		1.00人	臨時職員	③272,144人	368,000人	389,587人							
			8,575千円	臨時職員		H29年度目標					評価者			
						373,000人					交通安全課長 田中 政美			